

令和2年10月22日

第27回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会（書面開催）」結果概要

○期間 令和2年8月24日（月）～9月2日（水）

○形式 書面

○内容 1 報告

- (1) 「LRTまちづくりビジョン」の検討状況について
- (2) （仮称）清原工業団地トランジットセンターについて
- (3) LRT整備工事の取組状況について

2 その他（情報提供）

- (1) 第2回芳賀・宇都宮LRT停留場名称検討委員会について
- (2) （仮称）平出町トランジットセンターゾーンの整備について

【主な発言の要旨】

1 報告

(1) 「LRTまちづくりビジョン」の検討状況について・・・資料1

- ・ 委員等からの意見は特になく、内容について了承

(2) （仮称）清原工業団地トランジットセンターについて・・・資料2

【岸井委員】

- ・ TCが出来上がるころには、工業団地内企業から団地全体案内図やコア施設誘導標識の設置あるいは企業広告の掲示といった要望が出てくることも考えられる。
- ・ 待合室内・TC用地内はもちろん隣接の民有地空間・近傍の公共空間への掲出も含めて、こうしたサイン・広告に対してどのように対処するかという方針をあらかじめ明確にして共有しておく必要が有る。

【事務局】

- ・ トランジットセンターに掲出するサインについて検討を進めている状況であり、トランジットセンター用地内への掲出物や掲出方法については、LRTデザイン部会における検討を踏まえながら、また、周辺空間への掲出物や掲出方法については、屋外広告物条例等の関係法令等を踏まえながら整理したいと考えている。

【望月委員】

- ・ 清原TCについては、資料に記載のとおり開業時には暫定整備とし、段階的に整備を行うことが望ましい。

- ・ 駐車場など、端末交通別の施設規模の必要性について、十分に整理しておくべき。
- ・ 駐車場の料金については、民間駐車場を考慮すると、有料にすべきと考える。

【事務局】

- ・ 駐車場については、需要定着時などにおける将来的な完成形であることから、開業時には暫定整備とし、オープンスペースの活用等を行っていく。
- ・ 端末交通別の施設規模については、検討委員会の専門組織である交通結節点等基盤整備部会の中での議論を経ながら、検討してきたところであり、必要性について整理している。
- ・ 料金については、今後、既存の市営駐車場や他事業者の料金設定、周辺の土地利用などを考慮しながら検討していく。

【大森委員】

- ・ トランジットセンターから各企業等の目的地までの2次交通について、今後、検討が必要である。
- ・ トランジットセンターのオープンスペースを活用してイベント等を行うことが出来れば賑わいが生まれるかもしれないが、夜間は閑散とするかもしれないので、防犯性・安全性にも配慮が必要である。

【事務局】

- ・ 2次交通については、トランジットセンターと企業を結ぶ循環バスの新設に向け、各企業における通勤の実態や、LRTを含む公共交通全般に関する意見・要望などについてヒアリングを行うなど、工業団地内の各企業の意向を伺いながら検討を行っている。
- ・ トランジットセンターの防犯性・安全性についてであるが、多くの人々が行き交う交通の要衝となるトランジットセンターについては「安全・安心な待ち空間があること」が重要な要素であることを認識しており、委員ご指摘の防犯性・安全性に配慮した施設整備を行っていくとともに、開業後に安全・安心にご利用いただけるような施設とするため、管理・運営について検討していく。

【各委員，了承】

(3) LRT整備工事の取組状況について・・・資料3

- ・ 委員等からの意見は特になく、内容について了承

以上